

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和7年10月30日
タイトル	水土里レポートが繋ぐ水土里ネットの輪！2025
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和7年10月24日（金）福岡県那珂川市の那珂川農業用水調整委員会 宮本 眞委員長様をはじめ、19名の皆様が視察研修に来られました。

那珂川農業用水調整委員会の「裂田の溝（さくたのうなで）」は日本書記に記述がある日本最古の農業用水として知られており、疎水百選にも選ばれています。水土里ネット福山の芦田川用水も同じく疎水百選に選ばれております。

土地改良区会館2階会議室において、水土里ネット福山の杉原郁充常務理事から「芦田川用水の概要・特徴」について、福山市環境保全課より「芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全地域協議会」について説明しました。

水土里ネット福山が位置する福山市の市街地は、約400年前に初代藩主 水野勝成により福山城の築城とともに干拓されたもので当時整備された水路の一部は現在も農業用水路として利用され、昭和46年3月完工の三川ダム国営付帯県営かんがい排水事業により芦田川用水が整備されました。

また、芦田川用水に絶滅のおそれがある「スイゲンゼニタナゴ」という淡水魚が生息しており、水土里ネット福山も保全活動に携わっていることから「芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全地域協議会」の事務局である福山市環境保全課より生息の歴史と変遷、保全活動について説明いただきました。

質疑応答では、農業用水路の管理は利水・治水の両面を念頭に管理していること、管理者の高齢化により水路の維持管理が難しくなっていることなど共通する課題について意見交換しました。

また、スイゲンゼニタナゴの保全活動について具体的な質問があり、環境や生物に配慮した水路の改修事例や水路浚渫について説明し、近年の水路やほ場の状況など意見交換しました。

その後、土地改良区会館より上流約10kmに位置する芦田川用水の「七社頭首工」へ移動しました。



七社頭首工では、芦田川の水際まで近づいて施設を見学され、頭首工や導水路、樋門について熱心に質問されました。

水土里ネット福山は、21世紀土地改良区創造運動の一環として様々な活動を「水土里レポート」にして継続的に投稿しております。レポートをきっかけに「水土里ネット」の輪が広がることを願っております。